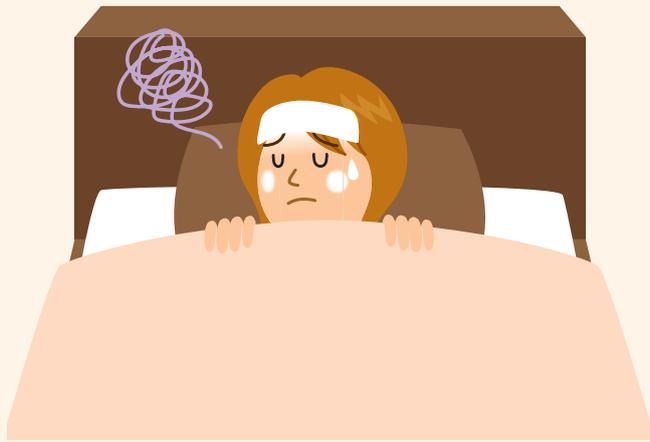


インフルエンザは陰性でも要注意！

本日のインフルエンザの検査は「陰性」でしたが、発熱してすぐの場合は検査に反応が出にくいこともあります。現時点ではインフルエンザの可能性も否定できないため、まだ油断せず、念のため様子を見ていきましょう。

症状が出てきた時や高熱で苦しい時には、当院にお問い合わせ（病院代表 096-339-1161）されるか、再受診をおすすめします。

インフルエンザの症状



- 38～40度の高熱
- 倦怠感、筋肉痛、関節痛

これらの激しい症状が
通常5日間ほど続きます。

気管支炎や肺炎を併発しやすく、
重症化すると脳炎や心不全を起こす
こともあります。

高熱が出ている時は、脱水症状にもなりやすいです。
できるだけこまめに水分補給をしてください。



お薬は回復のサポート役。しっかり休んで治しましょう。

お薬を飲んで、すぐに症状がよくなるとは限りません。お薬は、
体のつらい症状をやわらげて、回復を助けるものです。

回復のためには、「安静・休養・水分補給・栄養」をとることがとても
大切です。



解熱後も48時間以内は感染リスクあり。

熱が下がった後も、48時間以内はウイルスを周囲にうつして
しまう可能性があります。

外出は避け、無理をせず安静に過ごすことが、回復を早める
最も大切なポイントです。